



「始まり」

平成30年度がスタートしました。1ヵ月が過ぎようとしています。(連休の谷間にこの巻頭言を書いています) 始まりの時のワクワク感、ドキドキ感、そして、子どもたちの表情、姿・・・とてもいいですね。

1年生を迎える会がありました。私は、あいにく出張で当日の様子は見られませんでした。出張から戻ると職員室は、1年生を迎える会の話題でもちきりでした。特に6年生のリーダーとしての活躍に称賛の声がいっぱいでした。廊下に出ると、ちょうど何人かの6年生が階段を上っていくところでした。思わず、その背中に声をかけました。「1年生を迎える会、すばらしかったってねー。6年生がとってもよくがんばったって職員室で話題になってるよ。」

振り返って、出ました。そろってのガッツポーズ。6年生の会心の笑顔を見ることができました。

5年生は、稲の種もみを蒔くことから始めています。連休前半、たまたま学校に立ち寄り校長室にいたら、窓から何人かの子どもが走って行くのが見えました。走って行った先へ行ってみると、苗床でした。苗の健康観察と水やりです。担任もいっしょでした。バレーの練習の合間に、野球の練習に来た時と・・・。自主的に世話に来ているそうです。5年生は、田んぼの先生の言葉通り「赤ちゃんを育てるようにやさしく」稲苗の世話をしています。

初めての授業参観がありました。参観に来られたC・Sの藤田会長から声をかけられました。「いやー、1年生が、まだ入学して半月足らずなのに、しっかり勉強していて、感心しました。」嬉しい言葉でした。担任の指導・努力に頭が下がります。保護者のみなさんのご配慮・支援に感謝です。早速、同じく参観に来られていた石田園長先生にも知らせて、喜び合いました。保育園の先生方にも感謝です。斐太北小学校区としてコミュニティ・スクールを立ち上げた連携の成果を実感しました。

今日、子どもたち91名、全員出席です。「子どもたちの元気な顔が揃い、それ以上、お前は何を望む？」と心の声を聴きながら、みんなでさらに「一歩上の自分」を目指します。

今年もよろしくお願いします。

校長 加藤 晃

文化財少年団入団式

25日、斐太文化財少年団結団式を行いました。斐太史跡保存会の青山俊子様から「斐太の歴史や文化」についてご講話をいただきました。青山さんの「皆さんは地域の宝。昔から斐太では地域みんなで子どもたちを大切に育ててきたんだよ」とのお話があり、子どもたちも笑みを浮かべていました。その後、吹上・釜蓋遺跡応援団の「ふき子さん」と「かま太郎くん」が登場しました。最後は、児童代表の飯塚蒼空さんに続き、誓いの言葉を唱和しました。